

2021年度 総合研究所特別研究員 研究活動報告

氏名	田中 裕成
研究テーマ	新出梵文ポタラ宮俱舎頌写本の研究
研究概要	新出梵文ポタラ宮俱舎頌写本の校訂作業と諸訳との比較検討を行い、既存の梵本との異読箇所を抽出し、異読が発生した思想的背景を探る。本研究により『俱舎頌』は改変されたテキストであることを明らかにし、等閑視されてきた『真諦訳俱舎論』の重要性を明らかにしたい。

1. 研究活動の概要と研究成果	<p>本研究では、『俱舎頌』諸本の異読には思想的価値が存在するとの着想のもと、新出梵文ポタラ宮俱舎頌梵文写本の校訂作業と『俱舎頌』諸本の対照作業を行っている。昨年度の研究では、「ポタラ宮写本」と『真諦俱舎頌』は毘婆沙師の立場から改変されていたことが明らかとなったが、本年度は『俱舎頌』における伝説(kila)の語に注目して研究を行った。その結果、『真諦俱舎頌』はkilaが欠落するという点でもポタラ宮『俱舎頌』と対応することが明らかとなった。一方で、『玄奘俱舎頌』や『順正理論頌』でもkilaが欠落し、プラダンやゴーカレーの梵本や蔵本のみkilaが有る箇所も確認され、梵本や蔵本も改変されていた可能性が見いだせた。この点については「俱舎頌伝説句の改変」として、日本印度学仏教学会にて発表、投稿を行った。</p>
2. 学術論文・学会発表等	<p>単 「俱舎頌伝説句の改変」、『印度学佛教学研究』70巻2号(156)、pp. 54~59、日本印度学仏教学会(2022年3月、査読有)</p> <p>共 阿毘達磨集論研究会「梵文和訳『阿毘達磨集論』(6)」『インド学チベット学研究』25号、pp. 63~103、インド哲学研究会(2021年12月、査読有)</p> <p>共 漢訳仏典研究会「漢文読解『破僧事』巻第一 解題と訓読研究」『対法雑誌』3号、対法雑誌刊行会(2022年3月予定、査読有)</p> <p>共 加納和雄 他「律儀獲得の範囲と動機(36ab)」『対法雑誌』3号、対法雑誌刊行会(2022年3月予定、査読有)</p> <p>共 松田和信 他「毒蛇の喩え」『佛教大学仏教学会紀要』27号、pp. 47-78、佛教大学仏教学会(2022年3月、査読無)</p>
3. 競争的資金等への応募と採択	<p>2021年度科学研究費(研究活動スタート支援)「新出ポタラ宮俱舎頌写本と漢訳等諸本の比較研究」(採択期間2021年10月1日~2023年3月31日)</p> <p>2022年度科学研究費(若手研究)「俱舎頌諸本の比較研究に基づく新出ポタラ宮俱舎頌写本の校訂研究」(採択期間2022年4月1日~2028年3月31日)</p>
4. 今後の課題	<p>現時点で報告した以外にも大小様々な異読が『俱舎頌』に存在する。今年度の研究成果に基づき、他の異読についても精査する必要がある。</p>